

トピック ― カット野菜の消費動向調査（Web調査）の概要② ―

前回に引き続いて、カット野菜（簡便野菜（キャベツの千切り等）、野菜カップサラダ、ポテトサラダ、鍋物セットの4種類に分類）について、当機構が実施したWeb調査（平成25年11月）をもとに、消費者意向（利用する理由、味や価格のイメージ等）の特徴を紹介する。

カット野菜を利用する理由（複数回答可、以下同じ）については、「家庭での調理時間を節約できるから」とする回答が最も多く、次いで「生鮮品を使用して調理すると1回で使い切れないから」が多い。種類別では、特に簡便野菜と鍋物セットでこれらの回答が多く、カット野菜の利用では、調理時間の節約と一回での使い切りが重視されていることがうかがえる。

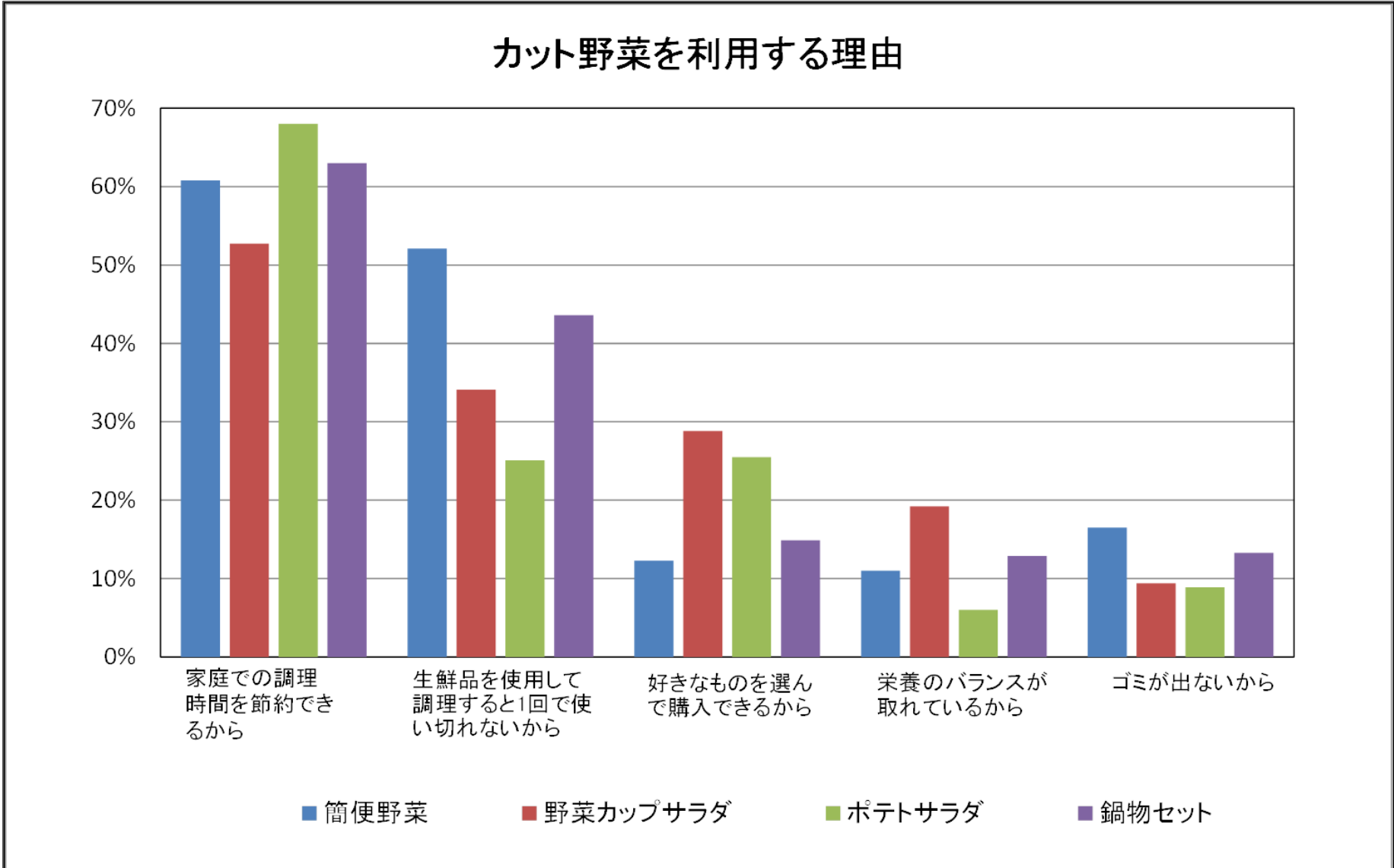
カット野菜の味については、家庭で作る場合と比較して、「変わらない」とする回答が最も多いが、ポテトサラダ、野菜カップサラダでは、「おいしい」とする回答も比較的多く、味についても一定の評価を得ていることがうかがえる。

カット野菜の価格については、生鮮野菜と比較して「高い」と感じる者が回答者の過半を占め、特に野菜カップサラダでは約7割を占めている。一方、簡便野菜では、「安い」と感じる者も約2割を占めている。

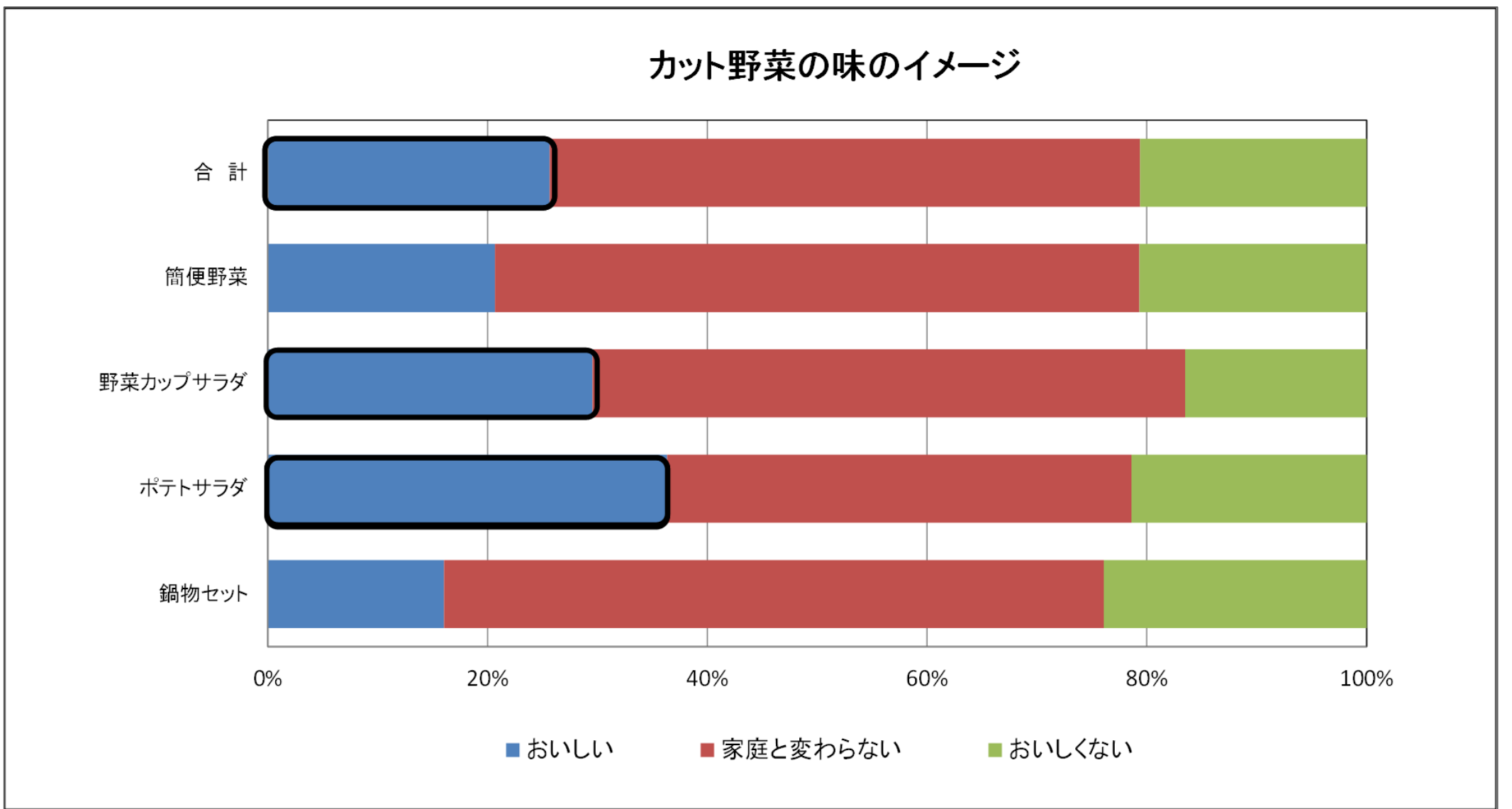
生鮮野菜の価格が高い時の代替購入品の種類については、カット野菜が回答者の過半を占めて、冷凍野菜を上回っている。

カット野菜については、価格はやや高いものの、時短調理や使い切りなどの利便性、さらには生鮮野菜の価格高騰時における代替品などの面が評価されて利用が広がっており、今後も核家族化の進展や共働き世帯の増加等に伴い、堅調な需要が見込まれている。

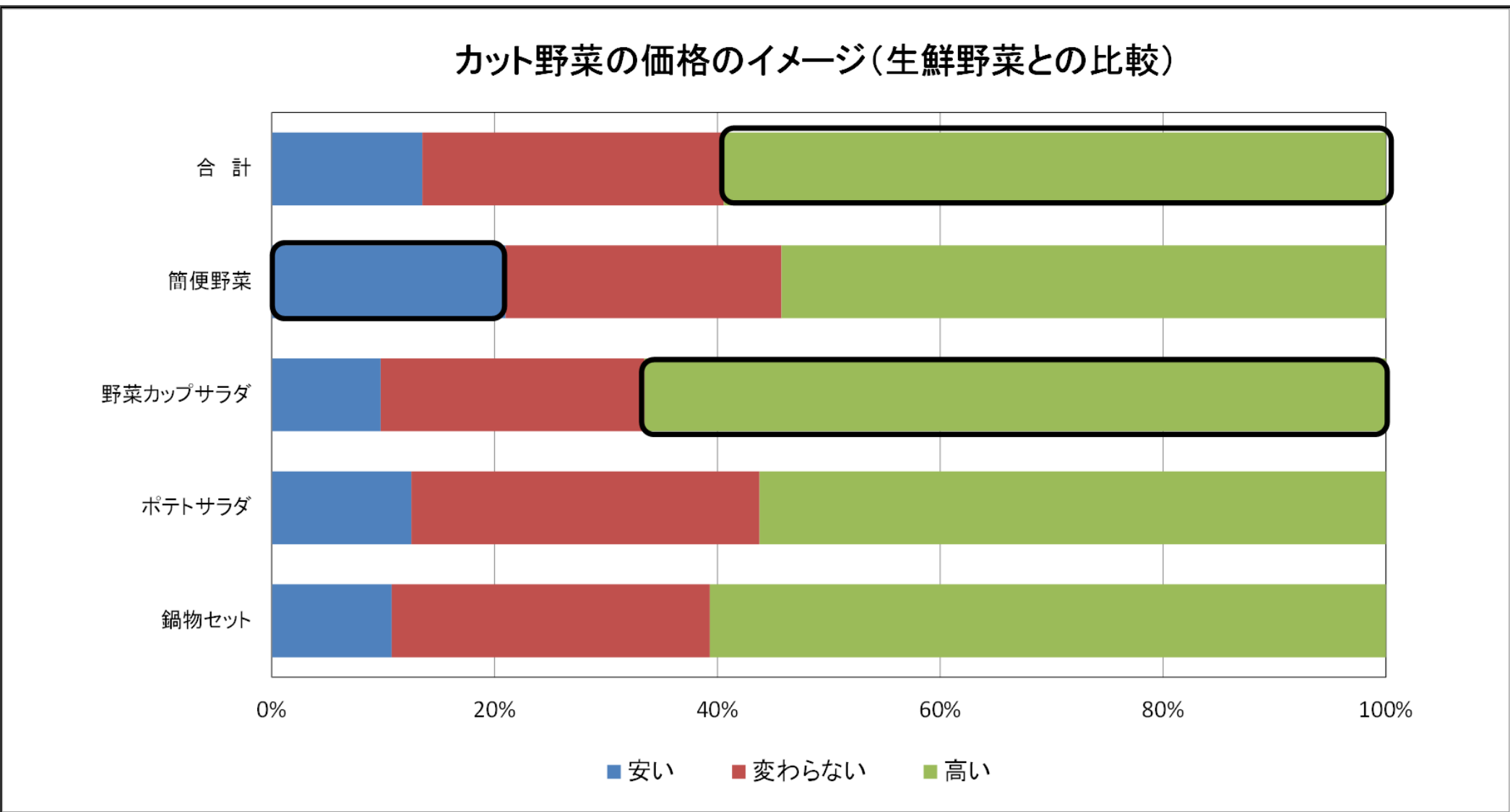
（「カット野菜の消費動向調査」はこちらから。
<http://www.alic.go.jp/content/000109646.pdf>）



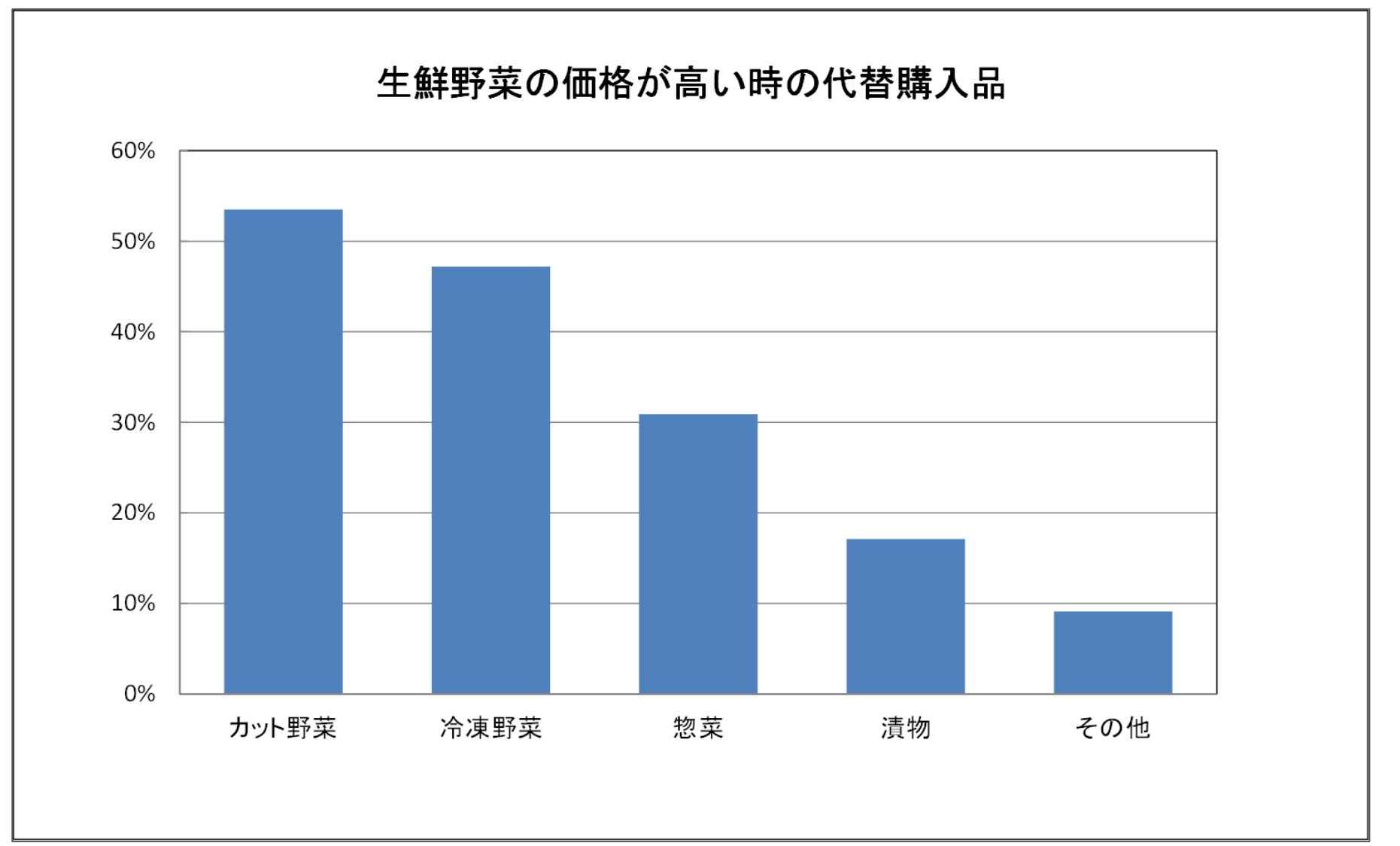
資料：機構「カット野菜の消費動向調査（Web調査）」



資料：機構「カット野菜の消費動向調査（Web調査）」



資料：機構「カット野菜の消費動向調査（Web調査）」



資料：機構「カット野菜の消費動向調査（Web調査）」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、斎藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。